

令和3年度公開講座のご案内



山形大学
Yamagata University

令和3年度山形大学公開講座実施一覧

講座名	開催期間	開催場所	受講対象者 定員	受講料	頁
憧憬の文学・文学の憧憬	令和3年 6月毎週火曜日 18:30~20:10	山形大学小白川キャンパス及びオンライン	一般市民 大学生・高校生 対面30人 オンライン定員 なし	一般市民 2,000円 大学生・高校生 無料	1
2020年代の日本社会を展望する	令和3年 9月14日(火)、21日(火)、28日(火)、 10月5日(火)、12日(火) 18:30~19:40	オンライン (見逃し配信あり)	一般市民 大学生・高校生 定員:なし	一般市民 2,000円 大学生・高校生 無料	2
ヒマラヤは美味しい！ ーヒマラヤの自然を学び 食を体験するー	令和3年 10月23日(土) 13:00~16:10 10月30日(土) 10:00~14:00	地域教育文化学部 2号館3F 多目的実験室 1号館 調理実習室	一般市民 10人	無料 別途:食材費 (1,000円)	3
ジェンダーと教育	令和3年 6月23日(水) 7月7日(水) 7月14日(水) 18:30~19:50	オンライン (見逃し配信あり)	一般市民 大学生 定員:なし	一般市民 1,000円 大学生 無料	4.5
Do you know about <i>shuriken, hanagasa, netsuke, norimaki-zushi?</i> ⇒ 中止	4月下旬~2月上旬	山形大学、西川町	アジアを中心 とした海外の 大学生 40人	約25,000円	6,7
理学のフロンティア2 ⇒ 中止	40月後半の日曜日 (2題ずつ2週にわた って実施)	理学部 先端科学実験棟 ふすまホール (S401室)	一般市民 高校生 80人	大学生以上 4,000円 高校生 500円	8
「農学の夕べ」~総合科 学である農学の魅力を紹 介します~	令和3年 9月2日・9日・30 日、10月7日・14 日・21日・28日(す べて木曜日) 18:30~19:30	農学部 講義室 (鶴岡キャンパス)	一般市民 大学生・高校 生 70人程度	無料	9
小説を書こう！	令和3年 11月1日(月)~ 令和4年 1月31日(月)(予定)	通信指導	一般市民 大学生・高校生 30人	一般市民 6,000円 大学生・高校生 2,000円	10

講座名	開催期間	開催場所	受講対象者 定員	受講料	頁
山形リカレント講座 「山形を発信するために 知っておきたい 最上義 光 のこと」	令和3年 6月25日(金) 16:30~18:30	オンライン	一般 (メディア関係者) 定員:なし	2,000円	11
山形大学附属博物館の眠 れる史料を呼び起こす!	令和3年 10月9日(土) 10月16日(土) 10月23日(土) 全3回 13:30~15:00	オンライン	一般市民 学生 定員:なし	無料	12
親子わくわくワークショ ップ ⇒ 中止	令和3年 7月10日(土)	附属小学校	園児・児童・生徒 とその保護者 親子30組60 人	1組500円	13
すこやか広場(第1回) 「お友達、こんにちは」 ~幼稚園で遊ぼう~	令和3年 7月1日(木) 14:30~15:45	附属幼稚園 園内及び園庭	2~3歳児 親子30組	材料費・保険代 200円	14
すこやか広場(第2回) 「親子でぺたぺた、まぜ まぜしよう」~造形遊び を楽しもう~ ⇒ 中止	令和3年 9月8日(水) 14:30~15:45	附属幼稚園 園内及び園庭	2~3歳児 親子30組	材料費・保険代 200円	14
すこやか広場(第3回) 「お兄さんお姉さんとい っしょに遊ぼう」~附幼 のお友達との交流~	令和4年 1月19日(水) 10:00~11:15	附属幼稚園 園内及び園庭	2~3歳児 親子20組	材料費・保険代 200円	14
with コロナをより良く生 きる	令和3年 11月20日(土) 13:30~15:30	オンライン	一般市民	無料	15

講座名	憧憬の文学・文学の憧憬
開催期間	令和3年6月毎週火曜日 18:30~20:10
開催場所	山形大学小白川キャンパス 及び オンライン
講座概要	<p>いまここにはないもの、いないひと。近代市民社会が成立しつつある19世紀初頭ヨーロッパにはじまるロマン主義は、現実を超えたなにか、理性の先のなにかといったさまざまな対象を描いた。そして、このロマン主義文学に限らず、なにものかへの「憧れ」は、ジャンルを問わずつねに文学的衝動の根幹をなし、刹那的な文学思潮としていつかはじまりいずれ消えるのではなく、古代から現代にいたるまで生き続けているともいえるだろう。</p> <p>文学は憧れを描き、同時に憧れは文学を求める。</p> <p>日本で、ヨーロッパで、アメリカで、人間はなにへのどのような憧憬を描き、いかなる文学として昇華してきたのか。そして憧憬を描いた作品はさらにどこへ飛翔してゆき、読者はどう受け止めてゆくのか。五回の講座のなかで、小説から戯曲までさまざまな側面から考えていきたい。</p>
受講対象者 (定員)	一般市民・大学生・高校生 (定員30人、オンラインは定員なし)
受講料	一般市民 2,000円、大学生・高校生 無料
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室 (企画広報) (TEL 023-628-4505)

回	日 程	時 間	内 容
1	6月1日(火)	18:30 ~ 20:10	「最上義光と連歌—戦乱の世に見た夢—」
2	6月8日(火)		「憧れの時間軸—ケイト・ショパンとトニ・モリスン—」
3	6月15日(火)		「黒いボールと青い花—〈憧憬〉にまつわる自然とテクノロジーの対立—」
4	6月22日(火)		「『日本浪漫派』と山形」
5	6月29日(火)		「文学について語る文学—トーマス・マン『ヴェニスに死す』における美への憧れを出発点に—」

講座名	2020年代の日本社会を展望する
開催期間	令和3年9月14日(火)、21日(火)、28日(火)、10月5日(火)、12日(火) 18:30~19:40
開催場所	オンライン
講座概要	<p>新型コロナウイルスの感染拡大が発生し、世間の関心はその一点に集中してしまった。感染拡大の前は東京五輪を象徴的な目標として日本社会が動いているという雰囲気があった。五輪開催を契機として新たな社会モデルが提出され、東京ひいては日本がより成熟した都市や国家に生まれ変わるといった明るい展望が期待された。しかし、社会のあり方を変革するようなアイデアが生み出されたようには見受けられないまま、新型コロナウイルスによって変化に向けた動きは急停止してしまった。</p> <p>ワクチンや治療薬の開発によって新型コロナウイルスを克服できたとしても、日本が抱えている課題は積み残されたままである。2020年代に日本社会がどこに向かうのか先行きを展望することが難しいことに改めて気づかされる。本講座では働き方、景気、地方、財政、暮らしの安全といった市民にとって身近なキーワードを導きの糸として日本社会のあり方について考えていく。</p>
受講対象者(定員)	一般市民・大学生・高校生 (定員なし)
受講料	一般市民 2,000円、大学生・高校生 無料
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室(企画広報) (TEL 023-628-4505)

回	日 程	時 間	内 容
1	9月14日(火)	18:30 } 19:40	1 働き方はどうなるの?
2	9月21日(火)		2 景気はどうなるの?
3	9月28日(火)		3 地方はどうなるの?
4	10月5日(火)		4 財政はどうなるの?
5	10月12日(火)		5 暮らしの安全はどうなるの?

講座名	ヒマラヤは美味しい！ -ヒマラヤの自然を学び、食を体験する-
開催期間	令和3年10月23日（土） 13：00～16：10 10月30日（土） 10：00～14：00
開催場所	地域教育文化学部2号館 3F 多目的実験室 地域教育文化学部1号館 調理実習室
講座概要	<p>ヒマラヤ地域の自然環境、すなわち地理的位置、地形的特徴、気候、植生および栽培植物について学んだ上で、現地の人々の日常的な食事（ダル・バート）を実際に作って食べてみる。</p> <p>10/23 1時間目 ヒマラヤの自然環境・地理的位置と地理的特徴を知る 2時間目 ヒマラヤの気候・植生と栽培植物を知る</p> <p>10/30 ダル・バートを作って試食しながらヒマラヤについて考える。</p> <p>※食べ物に関心があり、何でも食べられる方にお勧めです。</p> <p>担当教員 八木・石垣</p>
受講対象者（定員）	一般 10人（ワクチン接種を2回完了していることが望ましい）
受講料	無料（別途：食材費 1,000円）
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室（企画広報） （TEL 023-628-4505）

回	日 程	時 間	内 容
1	10月23日（土）	13：00 } 16：10	1時間目 ヒマラヤの自然環境・地理的位置と地理的特徴を知る。 2時間目 ヒマラヤの気候・植生と栽培植物を知る。
2	10月30日（土）	10：00 } 14：00	ダル・バートを作って試食しながらヒマラヤについて考える。

講座名	ジェンダーと教育
開催期間	令和3年6月23日(水), 7月7日(水), 7月14日(水) 18:30~19:50
開催場所	オンライン(見逃し配信あり)
講座概要	<p>1999年6月23日、男女共同参画社会基本法が公布・施行されました。毎年、この日から1週間、男女共同参画社会の形成に対する国民の理解を深めるための「男女共同参画週間」が設けられています。法律の制定から20年以上が経った今、日本社会は何が変わり、何が変わっていないのか、本講座ではとくに学校教育の役割に注目しながら考えていきたいと思えます。この法律の第10条には、学校教育は男女共同参画社会の形成に寄与するように努めなければならないと書かれています。</p> <p>そこで本講座では、まず日本のジェンダー政策の基礎的な情報を提供し(第1回)、その後、初等中等教育(第2回)や、高等教育(第3回)における現状と課題を議論します。直近の「第5次男女共同参画基本計画」(2020年12月閣議決定)や理数系教育とジェンダー、本学の取組等の最新情報にも触れながら、これからの教育についてジェンダー視点で考えます。</p> <p>現職の教員や教員をめざしている学生、またジェンダーに関して知りたい方、職務上必要な方等、広く受講いただけます。</p>
受講対象者(定員)	一般市民・大学生 (定員:なし)
受講料	一般市民 1,000円、大学生 無料
お問い合わせ先	<p>小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室(企画広報)</p> <p>kj-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp</p>


回	日 程	時 間	内 容
1	6月23日(水)	18:30 ～ 19:50	<p>「男女共同参画社会とは何か?～男女共同参画社会基本法と男女共同参画基本計画～」河野銀子</p> <p>日本の最新のジェンダー・ギャップ指数(世界経済フォーラム)は120位(156か国中)でした。法律を制定し、その実効性を高めるための「男女共同参画基本計画」を策定して取り組んできたのに、世界の中で下位に位置づくのはなぜでしょうか。法律や計画(下記から入手可能)を概観しながら、男女共同参画社会の理念と現実を概観します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会基本法 https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/law/pdf/01gender.pdf ・第5次男女共同参画基本計画(第10分野:教育・メディア) https://www.gender.go.jp/about_danjo/basic_plans/5th/pdf/2-10.pdf
2	7月7日(水)	18:30 ～ 19:50	<p>「男女共同参画社会における学校教育の役割～初中等教育の実態と課題～」河野銀子</p> <p>男女共同参画社会の形成に向け、とりわけ教師の役割が重要であることは、男女共同参画基本計画で示されているだけでなく、毎年政府が公表する「女性活躍加速のための重点方針」においても明記されています。これらの文書で多々見受けられるキーワードが「アンコンシャス・バイアス」です。自身のアンコンシャス・バイアスに気づき、授業に活かす試みを紹介していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍加速のための重点方針2020 https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/pdf/jyuten2020_honbun.pdf ・男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり https://www.gender.go.jp/c-challenge/pdf/keihatsu.pdf
3	7月14日(水)	18:30 ～ 19:50	<p>「男女共同参画社会における大学の役割～女性研究者支援の実態と課題～」河野銀子・井上榮子(前・山形大学男女共同参画推進室チーフコーディネーター)</p> <p>男女共同参画社会においては、男女があらゆる分野で参画機会を確保することが求められていますが、日本の大学・大学院では女性学生割合が男性より低く、また、女性教員(研究者)割合はOECD諸国の中で最低という状況にあります。改善のための政策展開と山形大学における取組みを紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5次男女共同参画基本計画(第4分野:科学技術・学術) https://www.gender.go.jp/about_danjo/basic_plans/5th/pdf/2-04.pdf ・山形大学男女共同参画推進室 http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/

講座名	Do you know about <i>syuriken, hanagasa, netsuke, norimaki-zushi</i> ? ⇒ 中止
開催期間	令和3年12月下旬～令和4年2月上旬
開催場所	山形大学、西川町
講座概要	<p>○ 内容</p> <p>受講者に対し、4日間の日本文化体験を行う。</p> <p>【日本のスポーツ】</p> <p>【雪国のスポーツ】</p> <p>【日本の音楽】</p> <p>【日本の美術】</p> <p>【日本の食】</p>
受講対象者 (定員)	アジアを中心とした海外の大学生 (10人)
受講料	約 25,000 円
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室 (企画広報) (TEL 023-628-4505)

		内 容
1日目	開校式	
	午前	【日本のスポーツ】 剣道、武道の型、手裏剣、吹き矢、四半的弓道の体験
	午後	【日本の音楽】 琴、花笠音頭、花笠踊りの体験
	夜間	書道体験
2日目	午前	【日本の美術】 根付制作
	午後	【日本の食】 海苔巻き、茶わん蒸しの調理
	夜間	茶道体験
3日目	山形大学から西川町に移動	
		【雪国のスポーツ】 スノースポーツ（スキー、板そり、そり）体験
		【日本の食】 和食文化（講義）
		温泉体験
		【日本の音楽】 日本の音楽の特性（講義）
		【日本の美術】 日本の美術の特性（講義）
4日目		【雪国のスポーツ】 スノースポーツ（スノーシュー、板そり、スノーモービル）体験
	西川町から山形大学にバスで移動	
	閉校式（山形大学）	

講座名	理学のフロンティア2 ⇒ 中止
開催期間	令和3年10月後半の日曜日
開催場所	山形大学 理学部 先端科学実験棟 ふすまホール (S401 室)
講座概要	現在、山形大学理学部では基礎科学の様々な領域と、それらの境界領域を含めた多様な研究が活発に展開されています。令和3年度の公開講座では、理学の各分野の最先端の研究内容について、新進気鋭の若手研究者である4名の理学部担当教員が、一般の方と高校生に向けて、平易に講演いたします。
受講対象者 (定員)	一般市民・高校生 (80人)
受講料	大学生以上 1,000円 高校生 500円
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室 (企画広報) (TEL 023-628-4505)

回	日 程	時 間	内 容
1	10月		
2			

講座名	「農学のタベ」～総合科学である農学の魅力を紹介します～
開催期間	令和3年9月2日・9日・30日、10月7日・14日・21日・28日（すべて木曜日） 18：30～19：30
開催場所	山形大学 農学部 講義室（鶴岡キャンパス）
講座概要	<p>農学とは、衣食住との関わりをベースとし、人類の生存、生活に貢献することを目標とした総合科学です。本講座では、様々な分野からのアプローチで農学を紹介し、「農学」が総合科学であることを感じていただくと共に、その最新の研究について、わかりやすく解説します。</p> <p>農学が、今世紀における人類的課題と言われる人口・食料・環境・エネルギー問題にどのように挑み、どのように貢献しているのかをご紹介します。</p> <p>〈昨年の講義の様子〉</p> 
受講対象者（定員）	一般市民・大学生・高校生（70人）
受講料	無料
お問い合わせ先	鶴岡キャンパス事務部総務課企画広報室 (TEL 0235-28-2911)

回	日 程	時 間	内 容
1	9月2日（木）	18：30 ） 19：30	「クスリが効かない細菌が身の回りに!?!-水環境を対象とした国内外の調査事例の紹介」 准教授 西山 正晃
2	9月9日（木）		「人の影響で野生生物が急速に進化する?!」 助教 小峰 浩隆
3	9月30日（木）		「江戸以前の御来迎について」 客員教授 前田 直己
4	10月7日（木）		「酸化ストレスへの防御～体がもつ抗酸化防御系について～」 准教授 小林 翔
5	10月14日（木）		「ブタ学ーブタとヒトのふか～い関係ー」 教授 堀口 健一
6	10月21日（木）		「地球温暖化と豪雨水害…マイタイムラインについて…」 名誉教授 前川 勝朗
7	10月28日（木）		「なぜ植物は大きくなるのか?ー芽生え～巨木への“根深い成長制御メカニズム”ー」 教授 森 茂太

講座名	小説を書こう！
開催期間	令和3年11月1日（月）～令和4年1月31日（月）（予定） 通信指導による開催
開催場所	電子メール、郵送等による通信指導
講座概要	<p>平成26年度以降毎年度継続的に実施しているもので、直木賞作家の高橋義夫氏を講師に招き、エンrollment・マネジメント部 山本陽史教授とともに、小説の書き方を指導する講座。</p> <p>対象者は、趣味として小説を書きたい方からプロの小説家を目指す方まで、年齢・性別・職業等を問わず受講可とする。</p> <p>受講者は聴講のみの参加も可能であるが、原則として未発表の作品を開講期間中に提出することとし、これらの作品について、受講者による合評と講師からのアドバイスを行う。</p> <p>現状では令和2年度と同様、通信指導による開講に加え、動画での配信も企画する。</p> <p>なお、ワクチンの接種の進展等でコロナウイルス感染状況が好転した場合には、講座の一部を小白川キャンパスで対面式で開催する可能性がある。</p>
受講対象者（定員）	一般市民・大学生・高校生（30人）
受講料	一般市民 6,000 円、大学生・高校生 2,000 円
お問い合わせ先	エンrollment・マネジメント部入試課 (TEL 023-628-4063)



回	日 程	時 間	内 容
1	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント（全受講生に配付）
2	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント（全受講生に配付）
3	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント（全受講生に配付）
4	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント（全受講生に配付）
5	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント（全受講生に配付）
6	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント（全受講生に配付）
7	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント（全受講生に配付）
8	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント（全受講生に配付）
9	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント（全受講生に配付）
10	(随時) 通信指導		提出作品へのコメント（全受講生に配付）

講座名	山形リカレント講座「山形を発信するために知っておきたい最上義光のこと」 https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/area/education/002/
開催期間	令和3年6月25日（金） 16:30～18:30
開催場所	オンライン（Zoom ウェビナーを使用します）
講座概要	<p>山形に関する歴史や文化、方言、食、風習などについて、高等学校までのカリキュラムでは学ぶ機会が少なく、高等学校や専門学校を卒業後すぐに就職した人や、県外の大学で学んだ人は、山形の基礎的な知識を教育機関で学ぶことが難しい。そこで、新聞、放送、雑誌（フリーペーパー含む）、ウェブ媒体などを通して山形県の魅力を県内外に発信するメディア関連企業のスタッフ向けに、山形を魅力的に発信する一助としてもらうことを目的として、「メディアスタッフ向け 山形リカレント講座」を開講する。</p> <p>今後は、連続講座等の展開を検討しているが、本講座はプレセミナーと位置づけ、ニーズ調査や本プロジェクトの広報等を目的に、山形県民でも高等学校までに学ぶことが少ない山形の偉人「最上義光」の基礎知識や、彼が現代に残した功績や影響を学ぶ。</p>
受講対象者 （定員）	一般（メディア関係者）
受講料	2,000円
お問い合わせ先	エクステンションサービス推進本部 023-628-4779

回	日 程	時 間	内 容
1	6月25日（金）	16:30 ～ 18:30	最上義光の生涯、現代に残した功績、現在の評価、等

講座名	山形大学附属博物館の眠れる史料を呼び起こす！
開催期間	令和3年10月9日（土）、16日（土）、23日（土） 13：30～15：00
開催場所	オンライン
講座概要	<p>山形大学附属博物館収蔵の古文書は約3万点を数え、主に江戸時代から明治時代の山形県内各地域の地方文書（じかたもんじょ）を幅広く収集し、山形県史や各市町村史に載る資料も多く含まれています。</p> <p>その中から、最近研究者によって明らかにされた当館の「眠れる史料」について講義を行います。</p>
受講対象者（定員）	一般市民・学生 定員：なし
受講料	無料
お問い合わせ先	附属博物館（押野） （TEL 023-628-4930）

回	日 程	時 間	内 容
1	10月 9日(土)	13：30 ～ 15：00	「會田家文書、消えた近江商人の手紙から～お客様は仏さまです～」 地域教育文化学部教授 大喜直彦
2	10月16日(土)		「結婚、離婚から見た「家」・女・男—史料に残された江戸時代の生」 岡山大学客員研究員 沢山美果子
3	10月23日(土)		「地方文書・区有文書から探る三島通庸の山形県政」 人文社会科学部准教授 小幡圭祐

講座名	親子わくわくワークショップ ⇒ 中止
開催期間	令和3年7月10日(主)
開催場所	山形大学 附属小学校
講座概要	<p>「親子で築こう豊かな心・広がる心」～子どもの成長とともに～のテーマのもと、附属小学校の教員が、専門性や個性を發揮しながら、体験の楽しさを味わえるワークショップを開催します。</p> <p><—昨年の親子わくわくワークショップ「親子で作ろう！手作りはがき」の様子></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
受講対象者(定員)	園児・児童・生徒とその保護者 (親子30組60人)
受講料	500円
お問い合わせ先	山形大学 附属小学校 (TEL 023-641-4444)

回	日程	時間	内容
1	7月10日(主)	2時間	未一定

講座名	すこやか広場
開催期間	令和3年7月1日(木)、 9月8日(水) ⇒ 中止、 令和4年1月19日(水)
開催場所	附属幼稚園(園内及び園庭)
講座概要	<p>幼児期は人格形成においてとても大切な時期です。豊かな遊びを体験し、周囲の温かい愛情と支援を受けて健やかに成長していきます。</p> <p>本講座は、3回シリーズで開催します。子どもへの関わり方のお話や親子で実際に遊びながら親子のきずなを深め、幼児期の子育てについて楽しく学んでいきます。</p>
受講対象者(定員)	<p>第1回 2～3歳児(親子30組)</p> <p>第2回 2～3歳児(親子30組)</p> <p>第3回 2～3歳児(親子20組)</p>
受講料	各回200円(材料費・保険代として)
お問い合わせ先	山形大学附属幼稚園(奥山) (TEL 023-641-4446)

回	日 程	時 間	内 容
1	7月1日(木)	14:30 } 15:45	「お友達、こんにちは」 ～幼稚園で遊ぼう～
2	9月8日(水)	14:30 } 15:45	「親子でぺたぺた、まぜまぜしよう」 ⇒ 中止 ～造形遊びを楽しもう～
3	1月19日(水)	10:00 } 11:15	「お兄さんお姉さんといっしょに遊ぼう」 ～附幼のお友達との交流～

講座名	with コロナをより良く生きる
開催期間	令和3年11月20日(土) 13:30～15:30
開催場所	オンライン
講座概要	<p>新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し始めてからまもなく2年になりますが、まだまだ終息の目途は立っておりません。これからもwithコロナ時代を上手く乗りきることが求められます。</p> <p>山形大学医学部では、このパンデミックの当初から、県民の皆様へ向けて、日常の感染対策の情報提供を行ってきました。今年に入ってから医療従事者を対象としたワクチンの先行接種を実施し、副反応についての情報発信を行っています。さらに、高齢者への個別接種、山形県や山形市の集団接種事業、職域接種などへの協力を通して、県内におけるワクチン接種の普及、ならびに感染拡大防止に向け、医学部を挙げて取り組んできています。</p> <p>本講座の第1部では、最新の知見を織りまぜながら、新型コロナワクチンと今後の展望について講義を行います。</p> <p>また、第2部では日常生活における感染予防対策に加え、在宅ケアの場面で必要とされる対策について講義を行います。</p>
受講対象者(定員)	一般市民 (約100人)
受講料	無料
お問い合わせ先	飯田キャンパス事務部総務課庶務担当 (TEL 023-628-5006)

回	日 程	時 間	内 容
1	11月20日(土)	13:30 } 15:30	<p>第1部「新型コロナワクチンについて」 山形大学医学部附属病院 感染制御部 副部長 蜂谷 修</p> <p>第2部 いま改めて知りたい「在宅ケアでできる感染予防対策」 山形大学医学系研究科看護学専攻 地域看護学講座 教授 松田 友美 基礎看護学講座 講師 村田 恵理</p>